

デスクトップの表示

前に、複数のソフトを上手に使い分けましょう、という話がありましたが (No.33 デスクトップ)、一つのソフトが画面全体を覆っていると、新たにソフトを起動しにくくなります。そのときに役に立つのが、「デスクトップの表示」です。これは、タスクバーのスタートの横、クイック起動の中にあります。(No.69 クイック起動 参照)

このアイコンをクリックすると、作業中のウィンドウはすべて「最小化」(画面から表示が消え、タスクバーの表示のみになる)され、デスクトップが表れます。こうすると、デスクトップのアイコンから、別のソフトを起動することができるようになります。



デスクトップの表示

ソフトの起動は、必ずスタートボタンの「プログラム」から行う、という場合には不要かもしれませんが、しょっちゅう使うものですぐ起動したいものはデスクトップにショートカットアイコンをおくと便利なので、「デスクトップの表示」が役に立ちます。

もし、クイック起動のツールバーが表示されていない(上にある「デスクトップの表示」アイコンがタスクバーにない)ときは、Windows + M (ショートカットキーの一つ)を使うことができます。
Windows キー (揺らいだ窓: ウィンドウ: の絵のキー)を押しながら、M のキーを押します。

何か作業中のまま席を立ちたいとき、すぐに続きをするので作業中のウィンドウを閉じ(ソフトを終了し)たくなければ、最小化しておくのがいいと思います。画面に作業中のものを表示したままだと、誰かが誤って何かしてしまう可能性があります。こういうときに、さっと Windows + M をおして画面をデスクトップにしておきます。(逆の操作は、Windows + Shift + M です)

学校のノートパソコンでは、時々デスクトップ上のアイコンが消えてしまうことがあります。そういったときは、F5 キーを押します。このキーは、「最新の状態に更新する」キーです。デスクトップの、元々あったアイコンを呼び戻すときに使うことができます。

ついでに、席を立つときは、作業中でも(保存: Ctrl + S: してから)そのままふたを閉めてしましましょう。職員室は埃の多いところです。キーの隙間に埃がたまることは好ましいことではありません。ふたを開けると、指紋の入力で、すぐ続きができるようになります。ふたを閉めるときに、いちいちシャットダウンする必要はないのです。(お帰りになるときには、シャットダウンすることを忘れないようにしましょう)